

Brooklyn DAC+の活用(8)

—DSD 録音(3)—

1. はじめに

前報(7)に引き続き、DA-3000 により DSD 録音を行います。Brooklyn DAC+の導入結果を記録するため、今回、CD からの DSD 録音を実施します。

2. Brooklyn DAC+を使用した録音と試聴方法

録音の経路は次のとおりです。

CD 盤からの DSD 録音は次のとおりです。

CD ドライブ→fidata FIDATA HFAS1-S10→Brooklyn DAC+
→P&G フェーダー→TASCAM DA-3000

fidata 収納 CD のリッピング WAV からの DSD 録音は次のとおりです。

fidata FIDATA HFAS1-S10→Brooklyn DAC+
→P&G フェーダー→TASCAM DA-3000

なお、Brooklyn DAC+には ABS-7777 からの 44.1KHz のクロックを DA-3000 経由で入力します。

Brooklyn DAC+の入力は、USB に設定し、Brooklyn DAC+の電源、アース、ケーブル、アクセサリ類は、前報(3)の通りとします。

録音は DA-3000 の設定を 5.6MHzDSF に設定し、ABS-7777 から 44.1KHz のクロックを入力しています。

再生は、録音音源を fidata にコピーし、fidata から USB 経由で Brooklyn DAC+に送り込んで再生します。

使用したソースは、オーディオ資料室の DSD 録音使用盤に掲載しています。

3. Brooklyn DAC+の試聴結果

これまでも CD の録音を実施していますが、Brooklyn DAC+を経由し、かつ CD のリッピングや CD ドライブからの読み出しに UACU-700 を経由していること、Brooklyn DAC+の USB 入力端子に UACU-700 を装着していることが効いており、これまでの CD 再生、あるいは、その DSD 録音より格段にグレードが上がっています。そして、DSD 録音音源は、元の CD のリッピング WAV の再生などと比べて、DSD らしさが出てきて滑らかな音になり、元の CD の音から変化しています。

CD 盤からの DSD 録音と CD のリッピング WAV からの DSD 録音を比較します

と、後者の CD のリッピング WAV からの DSD 録音の方が、CD 盤からの DSD 録音より滑らかでおとなしい音になっています。

4. まとめ

CD 盤からの DSD 録音と CD のリッピング WAV からの DSD 録音を実施し、Brooklyn DAC+と UACU-700 の効果を認めました。

以上